

MapCall Standard の座標表示 について(新旧座標変換)

この度は、MapCall Standardをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 本書は、既存でMapCall Standardをお使いのユーザー様で、この度「MapCall Standard」を新たに買い替えた時における、ご利用の際の注意点、以前のバージョンとの変更点、データ移行作業手順等を記載しております。
 買い替えをされたMapCall Standardをご使用になる前に、本書を必ずご確認ください。

はじめに

「MapCall Standard」はパッケージ商品です。バージョンアップ商品ではありません。

本書は、現在、MapCall Standard Ver.1.x (以下「MapCall Standard 1.0」)をご利用されており、この度新たにMapCall Standard Ver.2.x (以下「MapCall Standard 2.0」)に買い替えをされたお客様を対象としたものです。
 現在、既にMapCall Standard 2.0をご利用のお客様は対象外となります。

製品別のバージョンの区分は以下のとおりです。

バージョン		MapCall Standard 1.0(1.0 1.1 1.5)	MapCall Standard 2.0(2.0 2.1)
使用座標系		日本測地系 (TKY) 表示	世界測地系 (JGD2000) 表示
対象 商品名	新潟版	MapCall Standard 2002, 2003及び2004	MapCall Standard 2005 MapCall Standard 2006新潟版及び2007新潟版
	石川版	MapCall Standard 2006石川版	MapCall Standard 2007石川版

買い替え時において、データベース内のデータを移行したい場合、座標変換作業が必要となります

「MapCall Standard」インストールについて

「MapCall Standard」同士は同じPC内での共存ができません。

現在インストールされている「MapCall Standard」を必ずアンインストールしてから、新しい「MapCall Standard」のインストールを行ってください。

また、「MapCall Standard 1.0」データベース内のデータを、「MapCall Standard 2.0」に移行させて使用したい場合、「MapCall Standard 1.0」のデータを、<エクスポート>して、任意の場所に保存しておく必要があります。

「MapCall Standard 1.0」から「MapCall Standard 2.0」に移行できるもの

「MapCall Standard 1.0」で作成したもの、保存したデータやファイルのうち「MapCall Standard 2.0」に移行できる、できないの一覧は以下の通りです。

移行できるもの (CSVエクスポート)	移行できないもの (エクスポート機能なし)
データベース内データ (データエクスポート後、座標変換が必要となります)	地図データ、住所データ アノテーションファイル メモ機能で入力したデータ しおり機能で入力したデータ

「MapCall Standard 2.0」変更点

「MapCall Standard 2.0」より、使用座標系を世界測地系 (JGD2000) に変更しました。

「MapCall Standard 1.0」をお使いのユーザー様の、データベース内のデータについては、日本測地系 (TKY) での表示となっておりますので、「MapCall Standard 2.0」へデータを移行する場合、座標系の変換を行う必要があります。

「TKY2JGD」での変換対応

新旧座標変換は、国土地理院ホームページより、「TKY2JGD」「座標変換パラメータ」をダウンロードして行うことができます。また、無償で配布されています。

国土地理院HP 便利なプログラム・データ
<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/program.html>

データ移行作業の流れ

準備するもの

- ・「MapCall Standard 1.0」よりエクスポートしたCSVファイル
エクスポート終了後、「MapCall Standard 1.0」はアンインストールをしてください。
- ・「TKY2JGD」「座標変換パラメータ」
国土地理院ホームページより、ダウンロード(無償)できます。
- ・「MapCall Standard 2.0」
「MapCall Standard 1.0」をアンインストール後、インストールしてください。

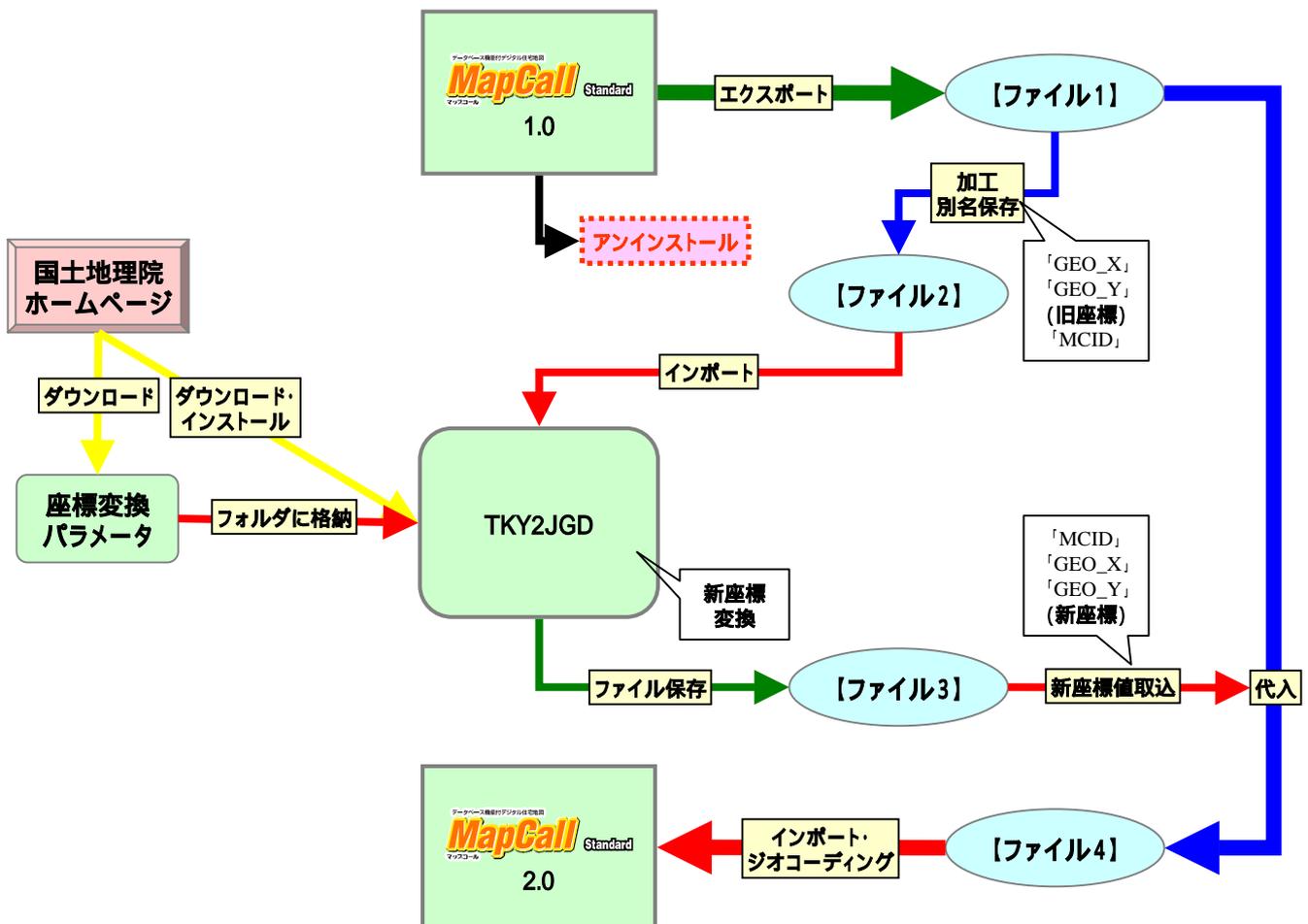
作業の流れ

座標変換作業の工程・流れは以下のようになっております。

作業は1ファイル単位でのものです。複数のファイルがある場合、そのファイル分の作業を行う必要があります。

(データ移行作業の流れ)

- 1.旧バージョンの「MapCall Standard」データベース内データを任意の場所にCSVエクスポート
- 2.エクスポートしたCSVデータを加工(緯度、経度、IDの3項目)
- 3.「TKY2JGD」で座標変換
- 4.エクスポートしたCSVデータに、座標変換したデータを代入し、結合
- 5.「MapCall Standard 2.0」にインポート。座標値でジオコーディング



この作業は、プログラムのインストール/アンインストール、データのインポート/エクスポート、Excelの加工・置換などの編集等、作業上の技術が必要になります。
また、作業中のいかなるトラブルにつきましても、弊社は一切責任を負いません。
十分ご注意の上、作業を行ってください。

「TKY2JGD」「座標変換パラメータファイル」ダウンロード方法

「TKY2JGD」

「TKY2JGD」は、「日本測地系(Tokyo Datum)」に準拠した座標値を、「世界測地系(JGD2000)」の座標値に座標変換するプログラムです。

国土地理院ホームページより無償でダウンロードして使用できます。

下記に、「TKY2JGD」のダウンロード、インストール方法と、変換の際に必要な「座標変換パラメータファイル」のダウンロード方法を紹介します。

詳細は、国土地理院HP内でご確認願います。

なお、ソフトウェアをダウンロードする場合には、使用許諾書に同意していただく必要があります。

ダウンロードの方法

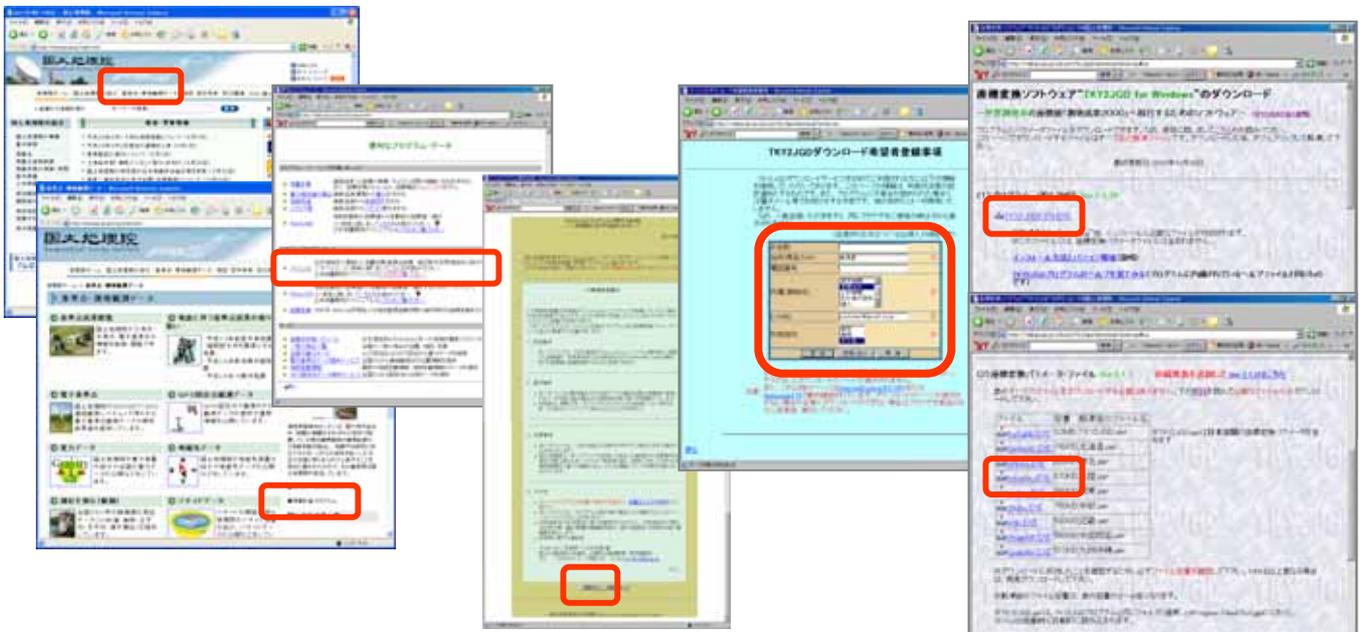
国土地理院HP 便利なプログラム・データを開き、「TKY2JGD」を選択します。

<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/program.html>

「使用許諾書」に同意します。

「TKY2JGDダウンロード希望者登録事項」を入力して送信ボタンを押しますと、ダウンロードページが開きます。

ダウンロードページから、「TKY2JGD」、「座標変換パラメータファイル」をダウンロードします。



「TKY2JGD」のインストールの方法

TKY2JGDxxxx.exeは、自己解凍ファイルです。ダブルクリックするとc:¥Tempに解凍されます。解凍先は変更可能です。

インストール前に全てのアプリケーション(ウイルスチェッカーを含む)を終了して下さい。

c:¥Temp¥TKY2JGDvxxxx¥Setup.exeをダブルクリックし、インストールします。

インストール後、TKY2JGDxxxx.exe、及び、c:¥Temp¥TKY2JGDvxxxx¥フォルダを削除して下さい。

「スタート」「プログラム」「Tky2jgd」「Tky2jgd」により座標変換プログラムを起動することができます。

既に他のバージョンのTKY2JGDがインストールしてある場合は、必ず、それをアンインストールしてから、インストールして下さい。

「座標変換パラメータファイル」について

“hokuriku.EXE”をTKY2JGDプログラムをインストールしたフォルダ(例:c:¥Program Files¥Tky2jgd)に移動して下さい。

“hokuriku.EXE”をダブルクリックすると現在のフォルダ(ディレクトリ)に“北陸.par”が解凍されます。

“hokuriku.EXE”は削除してかまいません。

“北陸.par”等の座標変換パラメータファイルはどのフォルダにおいてもTKY2JGDプログラムから読み込みことができますが、上の例のようにTKY2JGDプログラムをインストールしたフォルダにおくことをおすすめします。

「TKY2JGD」を使っての新旧座標変換方法

1. 「MapCall Standard 1.0」でデータをCSVエクスポートします。

「MapCall Standard 1.0」で座標変換に必要なデータベースファイルを開きます。
メニューバーより<ファイル> <エクスポート>を選択して任意の場所にデータをエクスポートします。
CSVファイルで保存されます【ファイル1(.csv)】。

データのエクスポートを終了した後、「MapCall Standard 1.0」はアンインストールして、「MapCall Standard 2.0」をインストールしておきます。

2. 【ファイル1】を加工します

【ファイル1】をExcelで開きます。
「MCID」「GEO_X」「GEO_Y」の列(フィールド)すべてを残して他は削除します。
「GEO_Y」「GEO_X」「MCID」の順に並び替えます。
「TKY2JGD」は3項目しか取り込むことができません。したがって「経度」「緯度」「ID」の順で保存します。
「GEO_X」「GEO_Y」は平面直角座標での数値です。「GEO_XX」「GEO_YY」は緯度/経度の数値になります。
緯度/経度でも変換をすることができますが、ここでは平面直角座標での方法を提示しております。
テキスト(スペース区切り)で保存します【ファイル2(.prm)】。

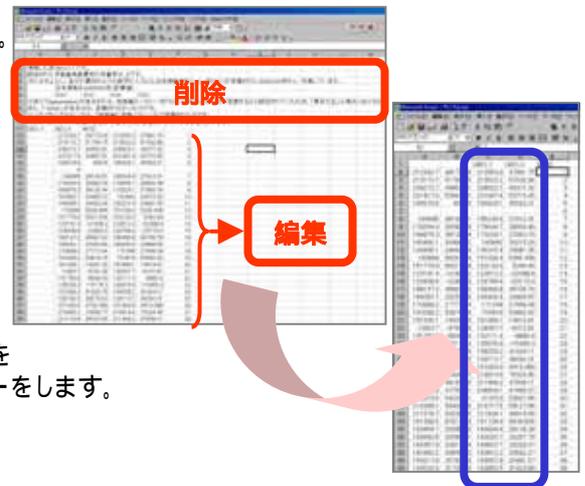
3. 「TKY2JGD」を使って座標を変換します

「TKY2JGD」を開きます。
<一括変換を>選択します。
<入力ファイル>をクリックして【ファイル2】を選択します。
出力先を指定して座標変換します【ファイル3(.out)】。



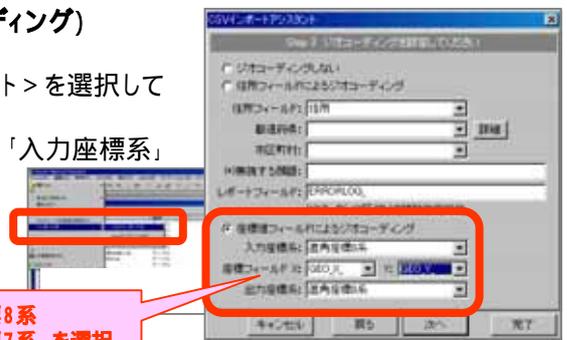
4. 【ファイル3】を加工して【ファイル1】に結合します

Excelを開いて<ファイル> <開く>で【ファイル3】を開きます。
拡張子が違いますのですべてのファイルを選択します。
テキストファイルウィザードにしたがってください。
なお、2/3のダイアログでスペースにチェックを入れます。
不要部分を削除します。またそろってない部分等を編集して、
「GEO_Y」「GEO_X」「MCID」をそろえます(右側3つの値です)。
上書を行うため、フィールド、レコードを整えます(座標値がない所は、ずれやすい)。
また、レコード数は【ファイル1】と必ず一致させます。
【ファイル1】を開きます。
加工した【ファイル3】の「GEO_X」「GEO_Y」列(フィールド)すべてを
【ファイル1】の「GEO_X」「GEO_Y」の列(フィールド)に上書きコピーをします。
「GEO_X」「GEO_Y」のらびに注意。
ファイルを保存します【ファイル4(.csv)】。



5. 「MapCall Standard 2.0」に取り込みます(インポート及びジオコーディング)

「MapCall Standard 2.0」のデータベースファイルを開きます。
メニューバーより<ファイル> <インポート> <CSVインポート>を選択して
【ファイル4】をインポートします。
「Step3」で「座標値フィールドによるジオコーディング」を選択して、「入力座標系」
「座標フィールド」「出力座標系」を選択してインポートを行います。



新潟版: 直角座標8系
石川版: 直角座標7系 を選択

MapCall Standardについてのお問い合わせは
株式会社中央グループ GIS事業部
(旧株式会社プレス)
〒950-0954 新潟市中央区美咲町1丁目4-15
TEL. 025-282-2600(ダイヤルイン)
FAX. 025-285-6699
E-Mail mapcall-office@breath.co.jp
URL <http://www.breath.co.jp>

MapCall Standard
オフィシャルHP
<http://www.mapcall.tv/support/>

「TKY2JGD」「座標変換パラメータファイル」の
内容につきましては、
国土地理院へお問い合わせ願います。